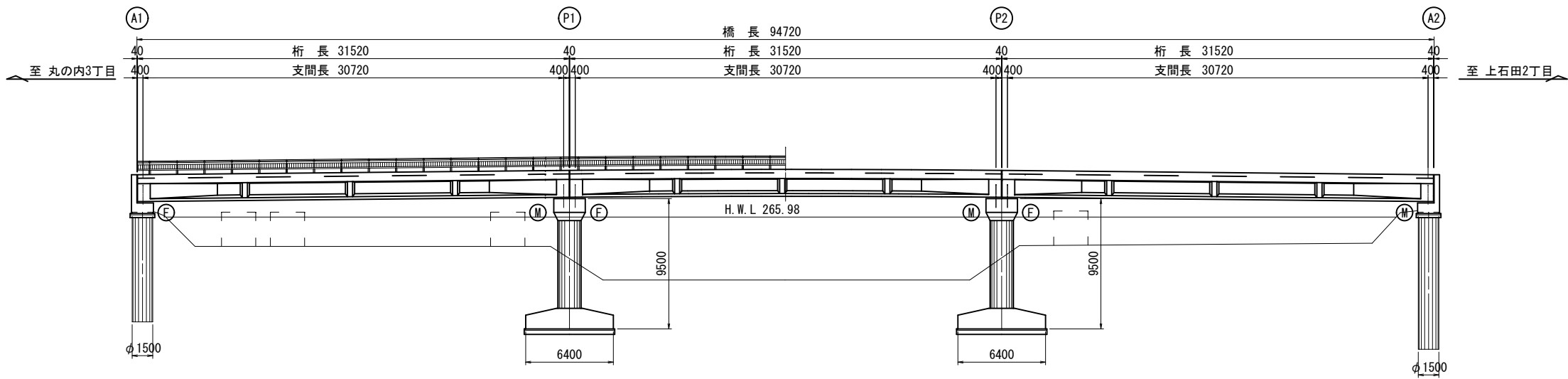
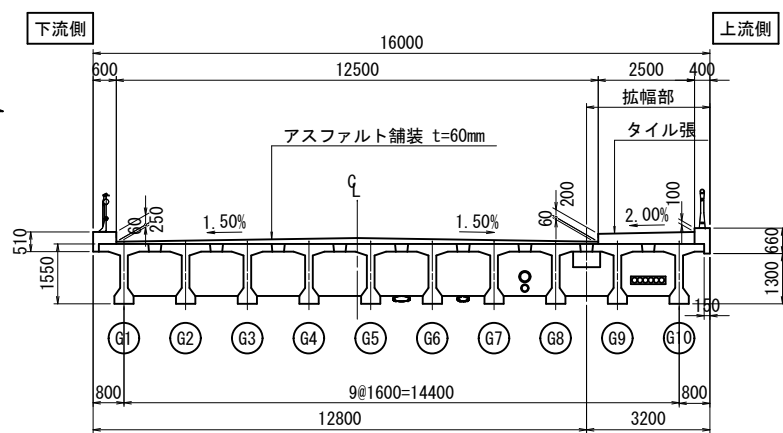


飯豊橋(車道橋) 現況一般図

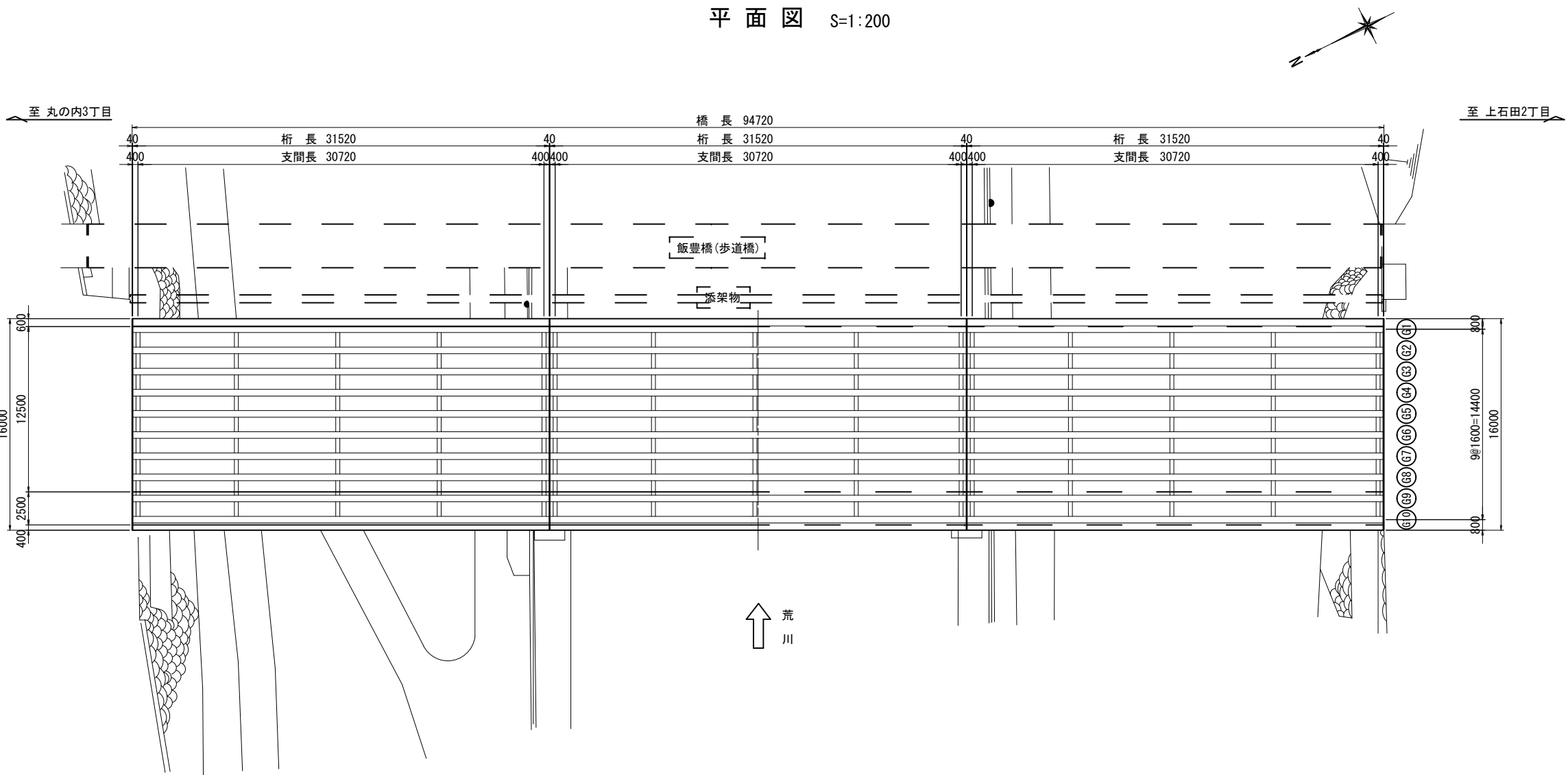
側面図 S=1:200



断面図 S=1:100



平面図 S=1:200



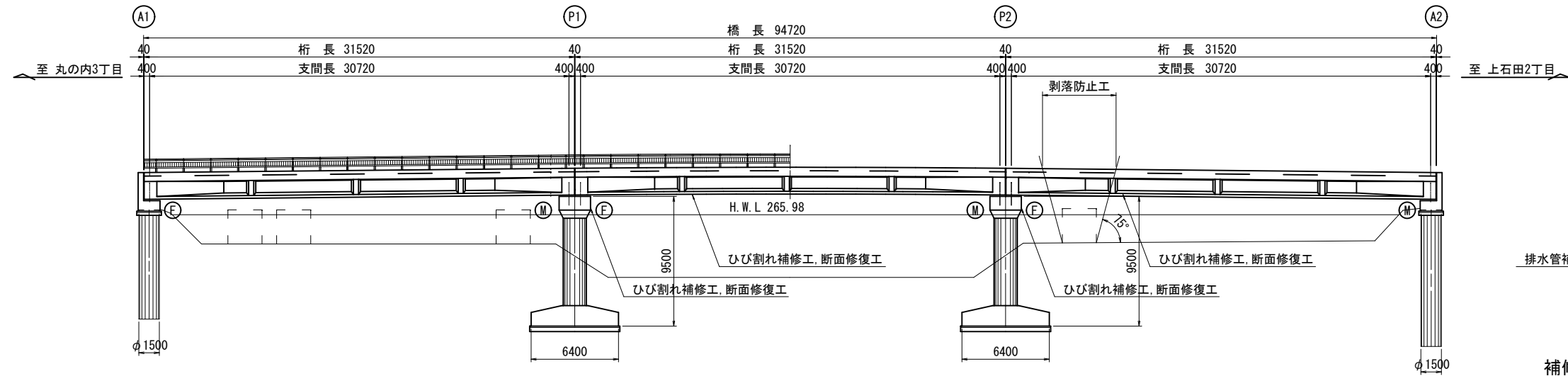
橋梁諸元表

竣工年月	車道部:昭和45年(1970年) 拡幅部:平成5年(1993年)	
橋格	1等橋(TL-20)	
型式	上部工	ポストテンション方式PC単純T桁橋(3連)
	下部工	橋台:枕梁式橋台 橋脚:壁式橋脚
	基礎工	橋台:場所打ち杭 橋脚:直接基礎
橋長	L=94.720m	
支間長	L=3@30.720m	
全幅員	W=16.000m	
有効幅員	W=15.000m	
斜角	90° 00' 00''	
舗装	車道:アスファルト舗装 t=60mm, 歩道:タイル張	
交差条件	1級河川 荒川	
適用示方書	車道部	昭和39年 鋼道路橋設計示方書
	拡幅部	平成2年 道路橋示方書

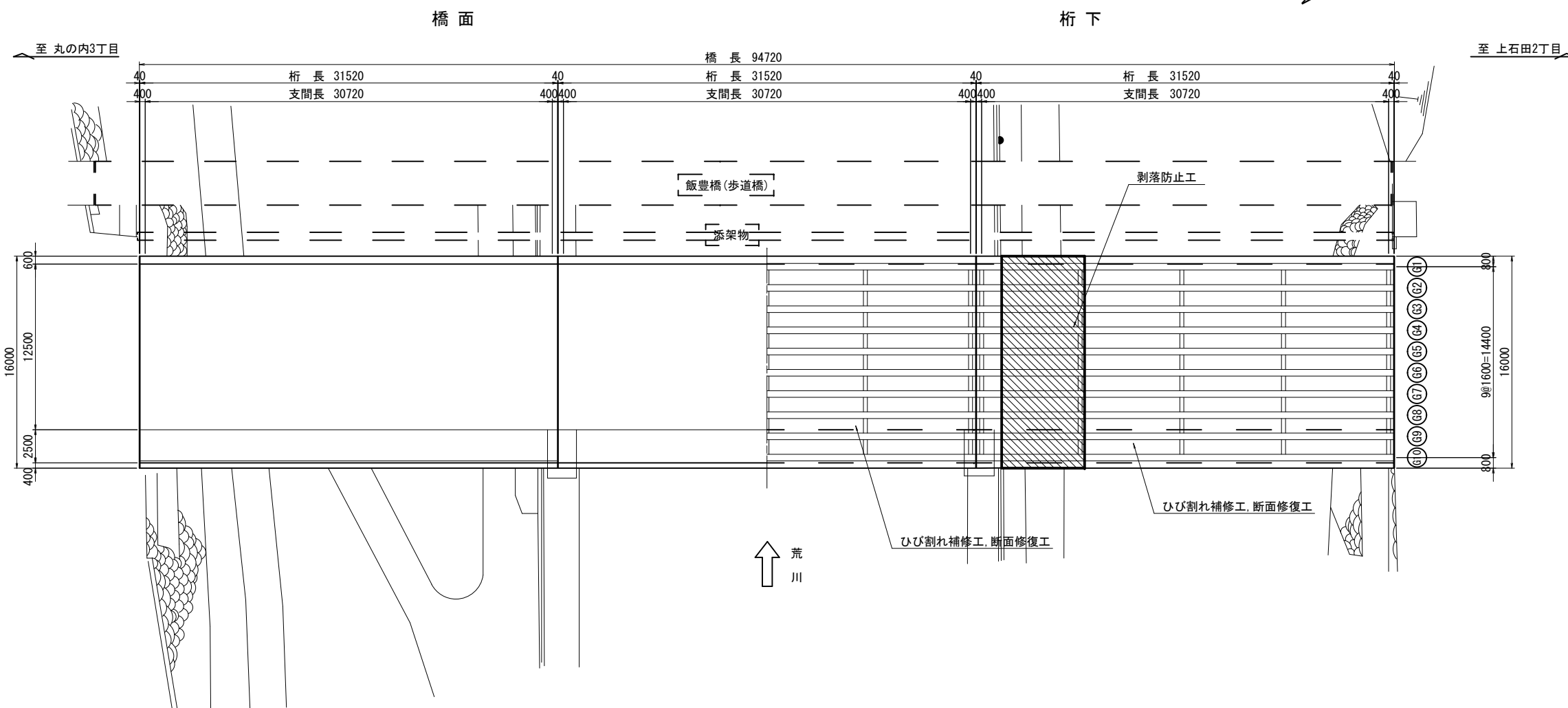
工 事 名	橋梁補修工事（R８－１）		
工事場所	甲府市 相生一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 高畑西条線		
図 面 名	飯豊橋(車道橋) 現況一般図		
縮 尺	図示	図面番号	1
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

飯豊橋(車道橋) 補修一般図

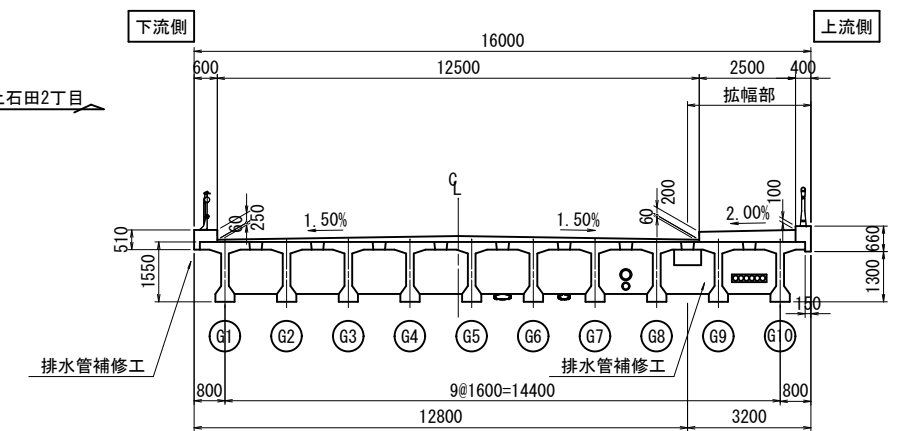
側面図 S=1:200



平面图 S=1:200



断面図 S=1:100



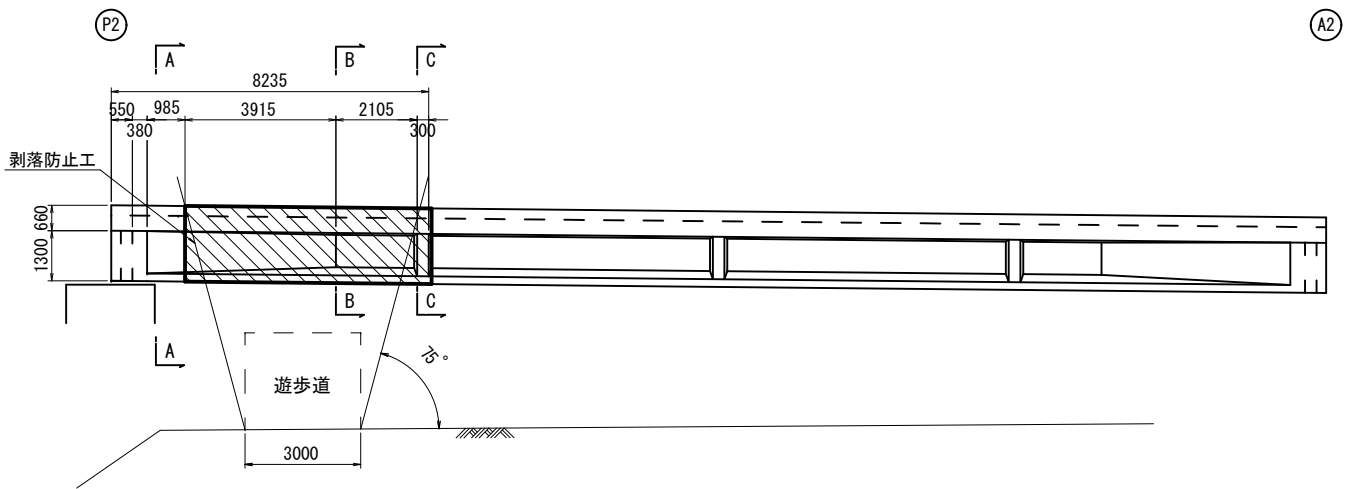
補修項目一覽表

	補修内容	施工箇所
補修	剥落防止工	P2～A2
	ひび割れ補修工	主桁、横桁、床版、P1、P2橋脚
	断面修復工	主桁、横桁、床版
	排水管補修工	P1～P2～A2

工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ８－１）		
工事場所	甲府市 相生一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 高畑西条線		
図 面 名	飯豊橋（車道橋）補修一般図		
縮 尺	図示	図面番号	2
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

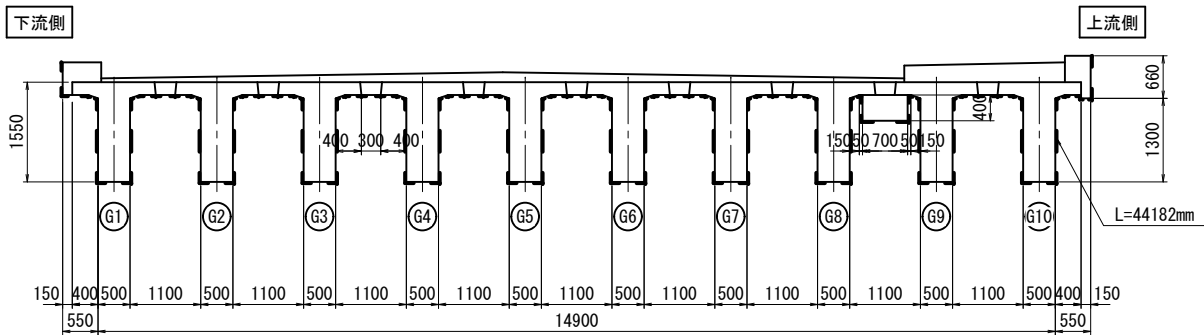
飯豊橋(車道橋) 剥落防止工詳細図

側面図 S=1:100

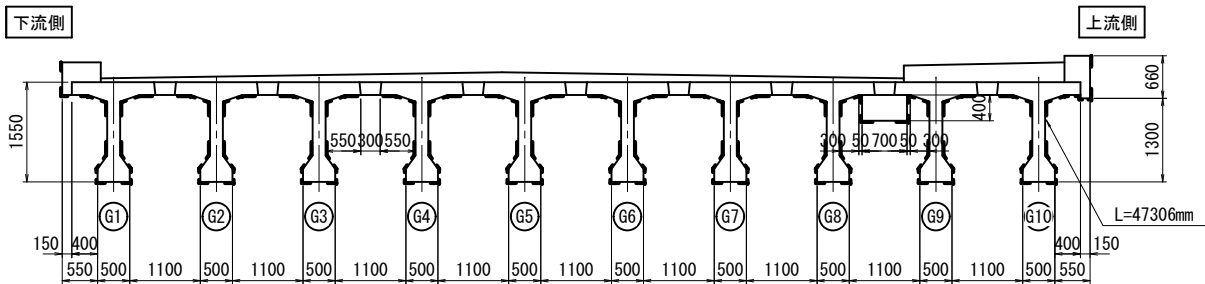


断面図 S=1:60

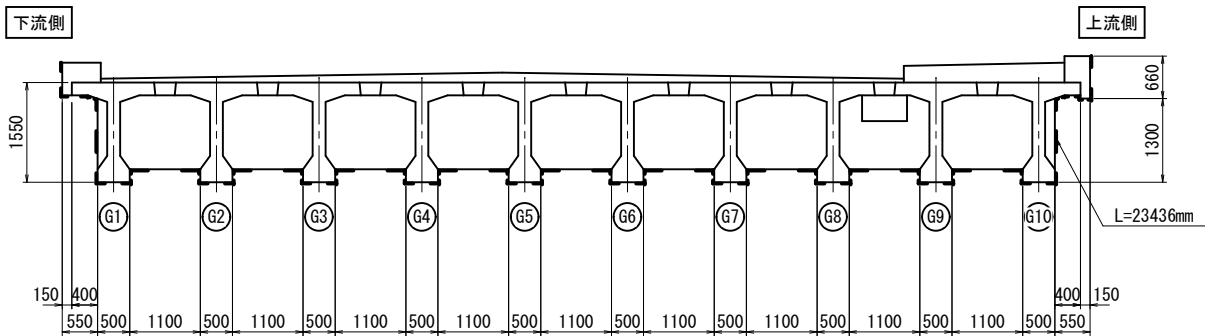
端横桁側標準部
A - A



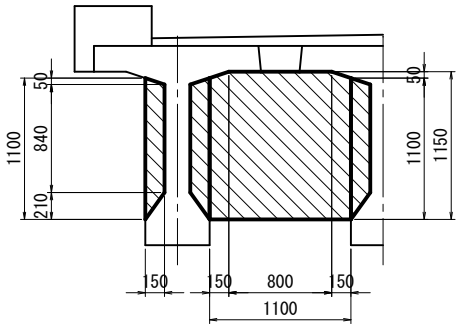
中間横桁側標準部
B - B



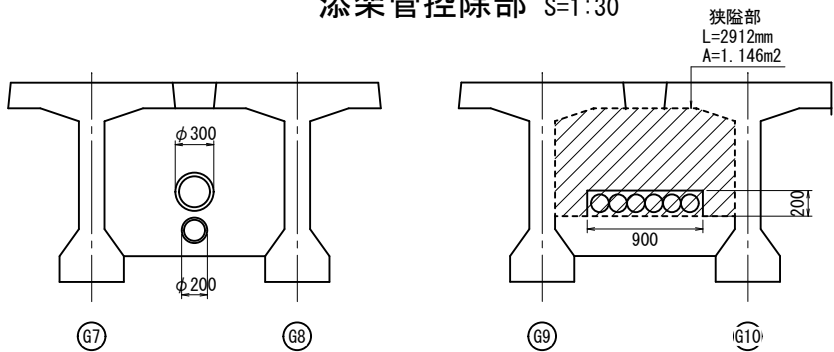
中間横桁部
C - C



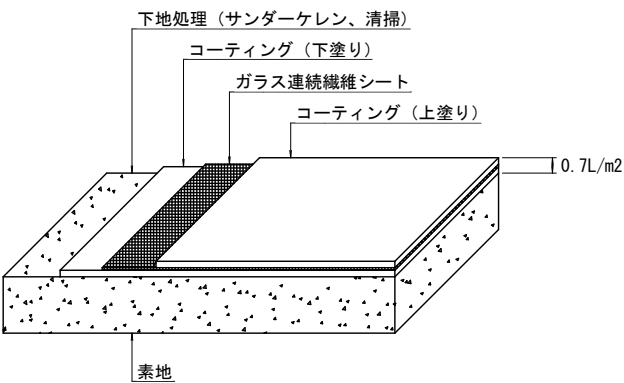
中間横桁部 S=1:30



添架管控除部 S=1:30



剥落防止工詳細図



剥落防止工 単位数量表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
下地処理	サンダーケレン、清掃	m2	282	
コーティング (下塗り)	1液性ポリウレタン樹脂	L	113.51	0.35L/m2×ロス率1.15
ガラス連続繊維シート	4軸	m2	310.2	ロス率1.10
コーティング (上塗り)	1液性ポリウレタン樹脂	L	113.51	0.35L/m2×ロス率1.15

1橋当り

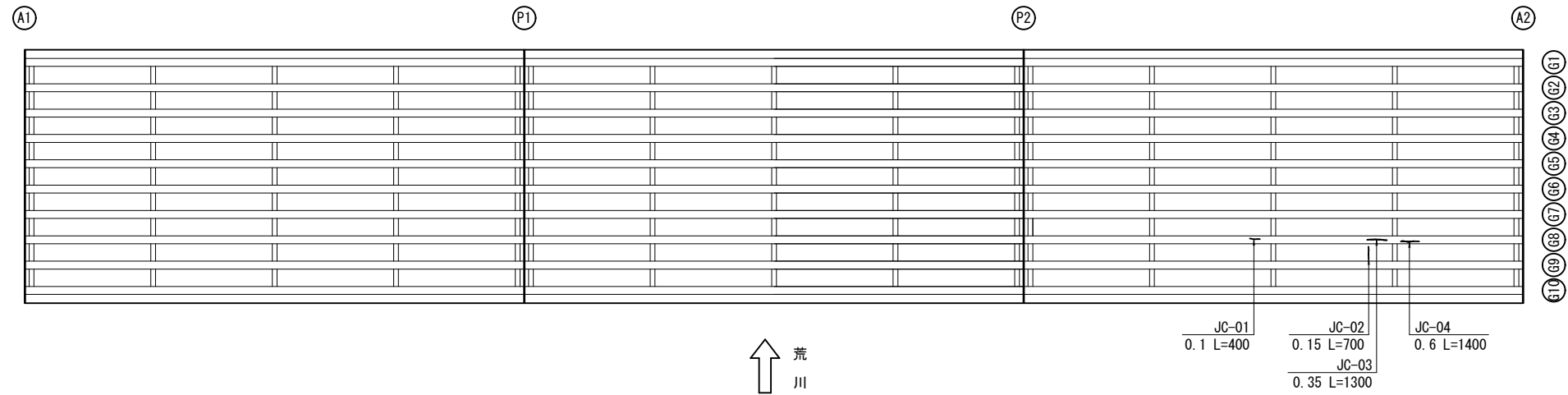
〈注記〉

- うき、剥離、鉄筋露出部の断面修復を行った後に、剥落防止工を施工すること。

工 事 名	橋梁補修工事（R８－１）		
工事場所	甲府市 相生一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 高畑西条線		
図 面 名	飯豊橋(車道橋) 剥落防止工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	3
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

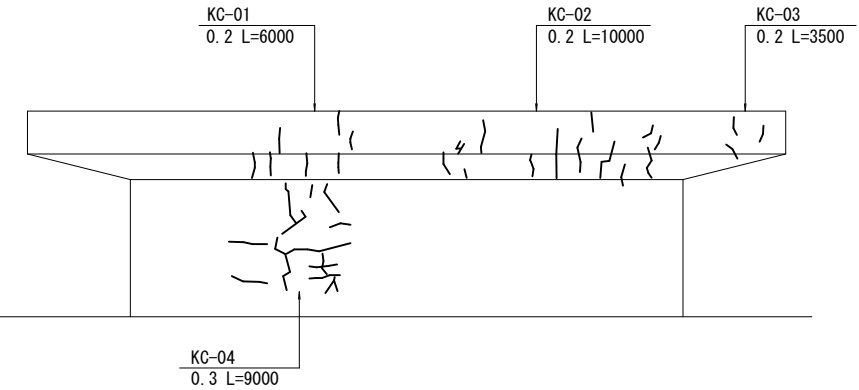
飯豊橋(車道橋) ひび割れ補修工詳細図

平面図 S=1:200
桁下

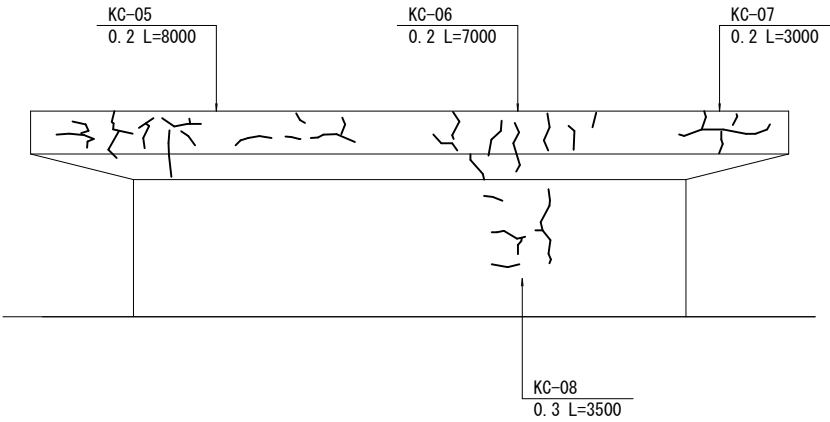


正面図 S=1:60

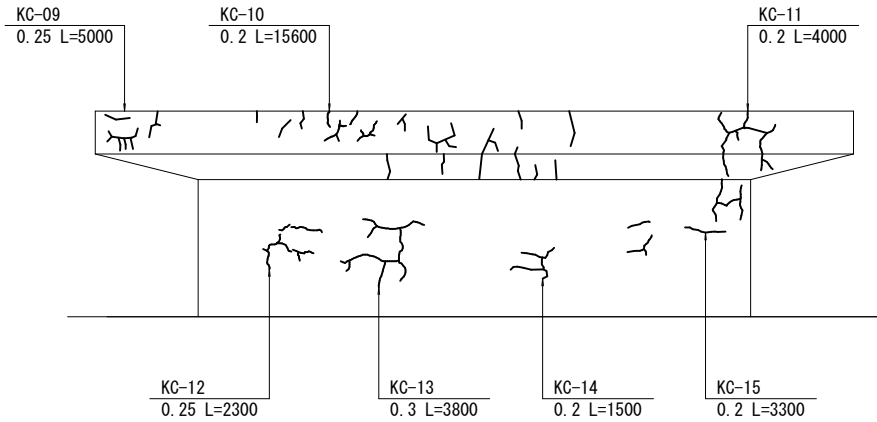
P1橋脚 (A2側)



P2橋脚 (A1側)



P2橋脚 (A2側)



ひび割れ補修工 数量表(低圧注入工法) 1橋当り

損傷箇所	No.	延長 (mm)	幅 (mm)	深さ (mm)	注入材 (kg)	シーリング材 (kg)	注入器具 (個)
上部工	JC-01	400	0.10	30	0.001	0.102	2
	JC-02	700	0.15	30	0.004	0.179	3
	JC-03	1300	0.35	30	0.016	0.332	5
	JC-04	1400	0.60	30	0.029	0.357	5
合計		3800	-	-	0.050	0.970	15

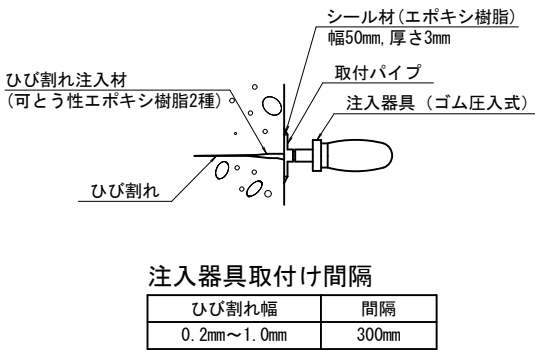
〔ひび割れ幅0.2mm～1.0mm〕
※ひび割れ深さは、鉄筋かぶりとする。

ひび割れ補修工 数量表(低圧注入工法) 1橋当り

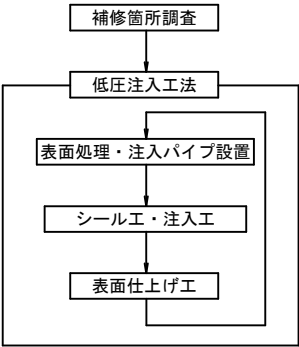
損傷箇所	No.	延長 (mm)	幅 (mm)	深さ (mm)	注入材 (kg)	シーリング材 (kg)	注入器具 (個)
下部工	KC-01	6000	0.20	70	0.097	1.530	20
	KC-02	10000	0.20	70	0.161	2.550	34
	KC-03	3500	0.20	70	0.056	0.893	12
	KC-04	9000	0.30	70	0.217	2.295	30
	KC-05	8000	0.20	70	0.129	2.040	27
	KC-06	7000	0.20	70	0.113	1.785	24
	KC-07	3000	0.20	70	0.048	0.765	10
	KC-08	3500	0.30	70	0.085	0.893	12
	KC-09	5000	0.25	70	0.101	1.275	17
	KC-10	15600	0.20	70	0.251	3.978	52
	KC-11	4000	0.20	70	0.064	1.020	14
	KC-12	2300	0.25	70	0.046	0.587	8
	KC-13	3800	0.30	70	0.092	0.969	13
	KC-14	1500	0.20	70	0.024	0.383	5
	KC-15	3300	0.20	70	0.053	0.842	11
合計		85500	-	-	1.537	21.805	289

〔ひび割れ幅0.2mm～1.0mm〕
※ひび割れ深さは、鉄筋かぶりとする。

低圧注入工法 詳細図



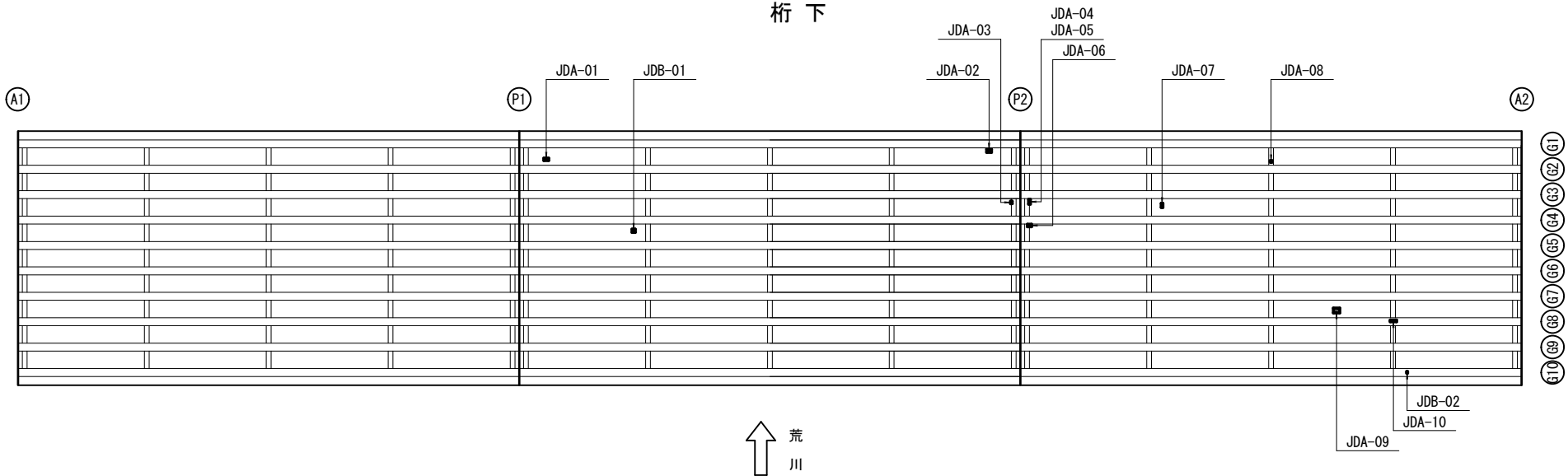
施工手順



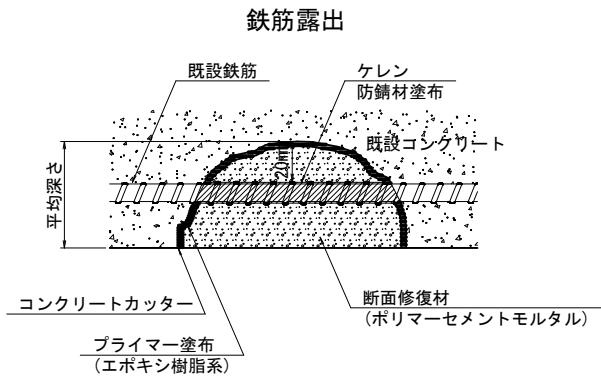
飯豊橋(車道橋) 断面修復工詳細図

平面図 S=1:200

桁下

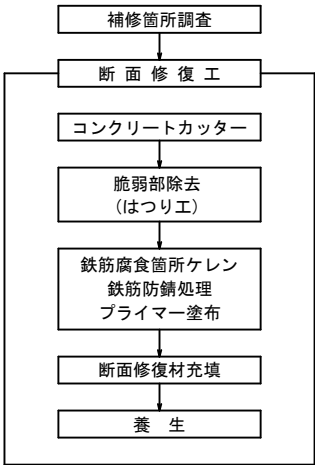


断面修復工A詳細図(参考)
(鉄筋ケレン・防錆処理を含む場合)



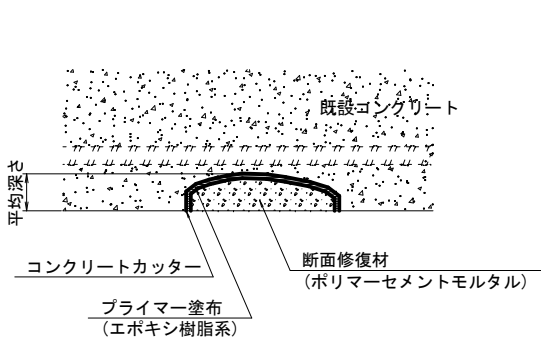
- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ 脆弱部および鋼材の裏側までコンクリートをはつり取る。
- ※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。

施工手順



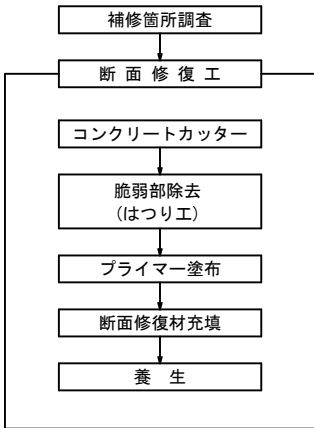
断面修復工B詳細図(参考)
(鉄筋ケレン・防錆処理を含まない場合)

コンクリート剥離、うき



- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。

施工手順



断面修復工A (鉄筋ケレン・防錆処理含む) 数量表 1橋当り

損傷箇所	No.	W×L×平均深さ(m)	V(m3)
上部工	JDA-01	0.200×0.350×0.070	0.0049
	JDA-02	0.250×0.350×0.070	0.0061
	JDA-03	0.150×0.200×0.070	0.0021
	JDA-04	0.150×0.350×0.070	0.0037
	JDA-05	0.100×0.200×0.070	0.0014
	JDA-06	0.300×0.150×0.070	0.0032
	JDA-07	0.150×0.300×0.070	0.0032
	JDA-08	0.150×0.150×0.070	0.0016
	JDA-09	0.450×0.650×0.070	0.0205
	JDA-10	0.450×0.150×0.070	0.0047
施工量合計			0.0514

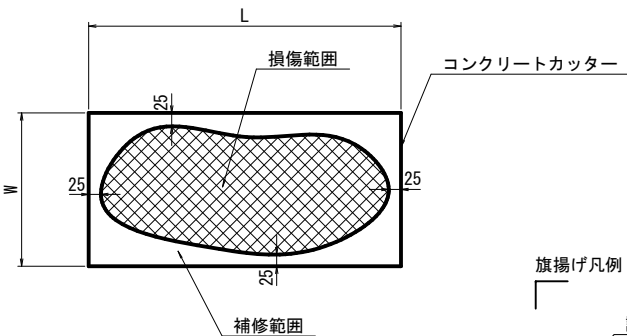
断面修復工B (鉄筋ケレン・防錆処理含まない) 数量表 1橋当り

損傷箇所	No.	W×L×平均深さ(m)	V(m3)
上部工	JDB-01	0.250×0.250×0.030	0.0019
	JDB-02	0.150×0.100×0.030	0.0005
	施工量合計		0.0024

コンクリートガラ 数量表 1橋当り

損傷箇所	W×L×平均深さ(m)	V(m3)
上部工	施工量合計	0.0538

断面修復範囲図



- ※ 損傷部より25mm程度の余裕を確保し、5cmラウンドの長方形の範囲に対して断面修復を行う。

- 〈注記〉
- 本図以外の箇所で同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
 - 脆弱部は、はつり落とすこと。
 - カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
 - 断面修復の範囲は、「現地調査」等に基づき決定している。施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるため、劣化状況を確認すること。

旗揚げ凡例

識別記号 - 番号

識別記号

識別記号	施工箇所
JD0-00	上部工

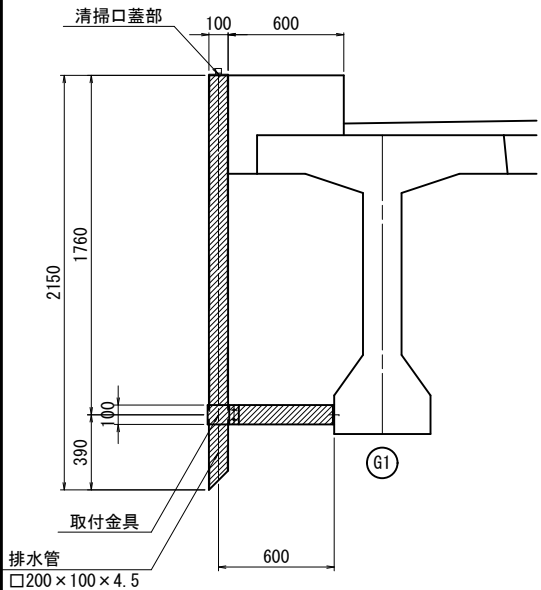
工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ８－１）		
工事場所	甲府市 相生一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 高畑西条線		
図 面 名	飯豊橋（車道橋）断面修復工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	５
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

飯豊橋(車道橋) 排水管補修工詳細図

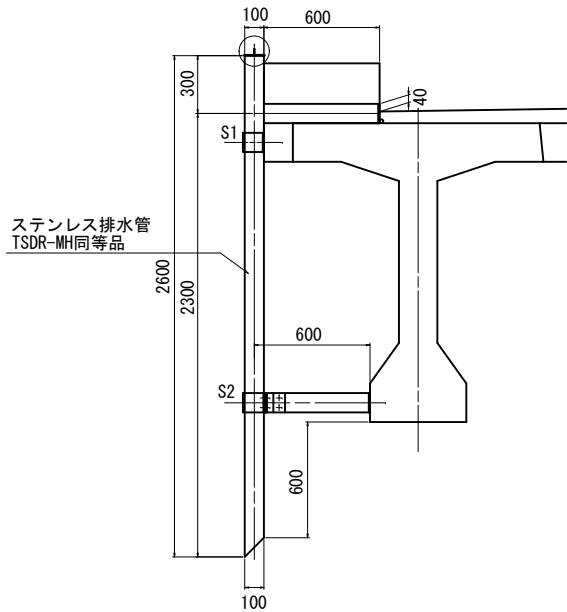
排水管補修A

排水管取替

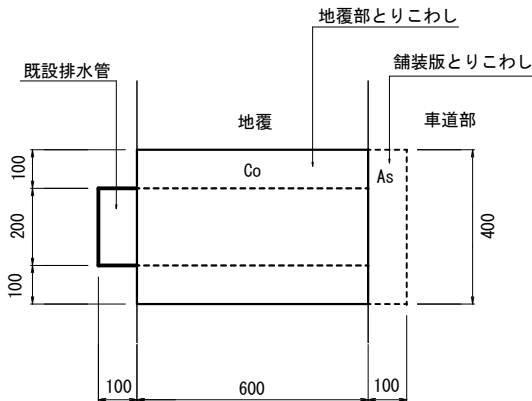
撤去断面図 S=1:20



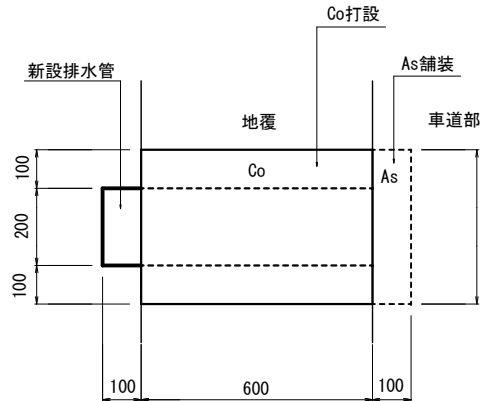
設置断面図 S=1:20



撤去平面図 S=1:10

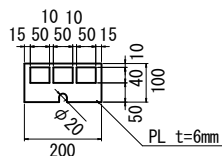


設置平面図 S=1:10

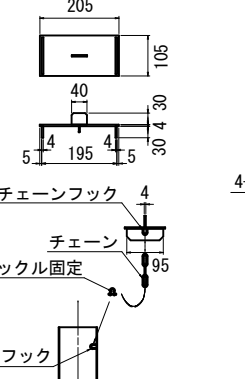


製品詳細図

目皿詳細図 S=1:10

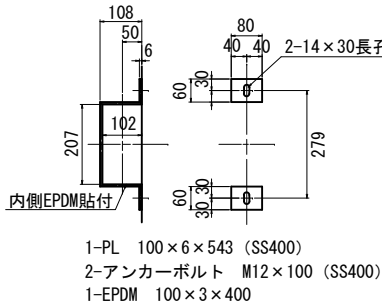


点検口詳細図 S=1:10



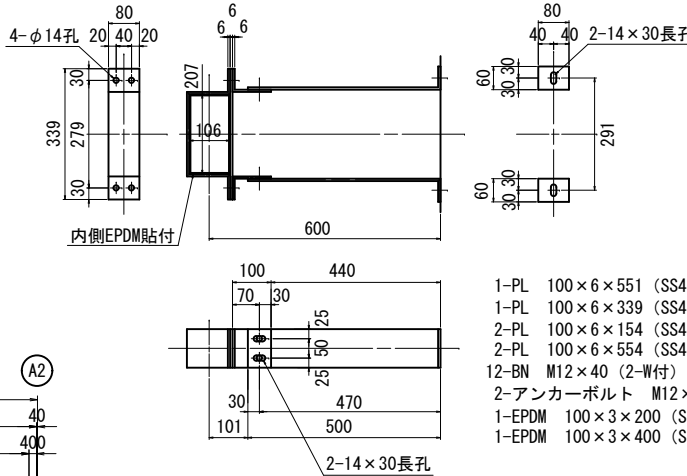
取付金具詳細図 S=1:10

S1

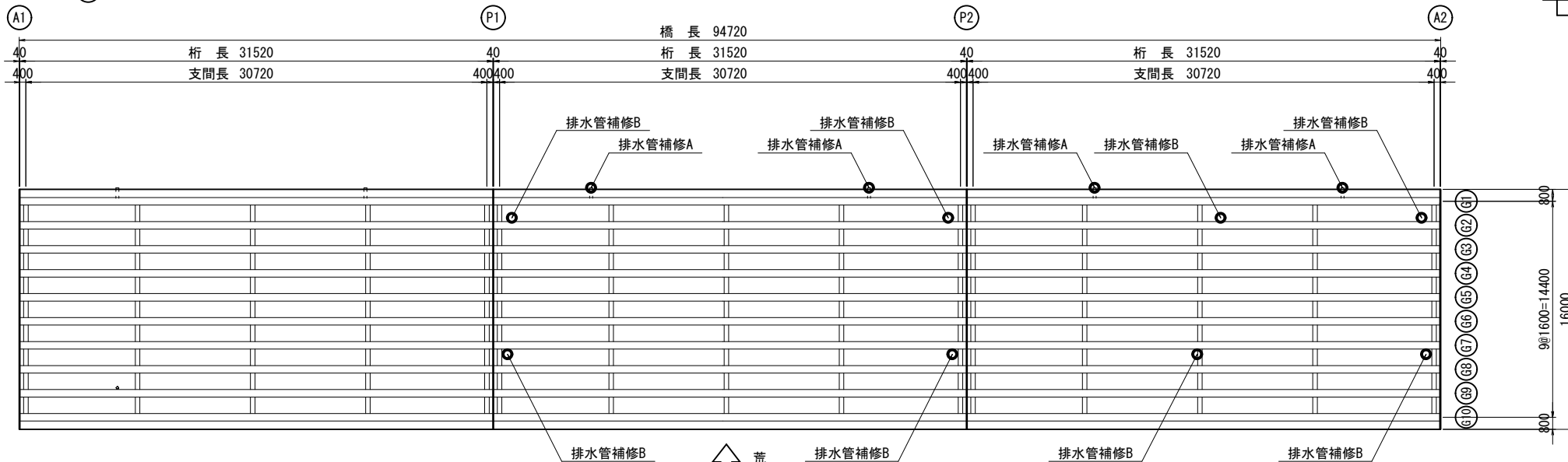


取付金具詳細図 S=1:10

S2



施工位置図 S=1:200



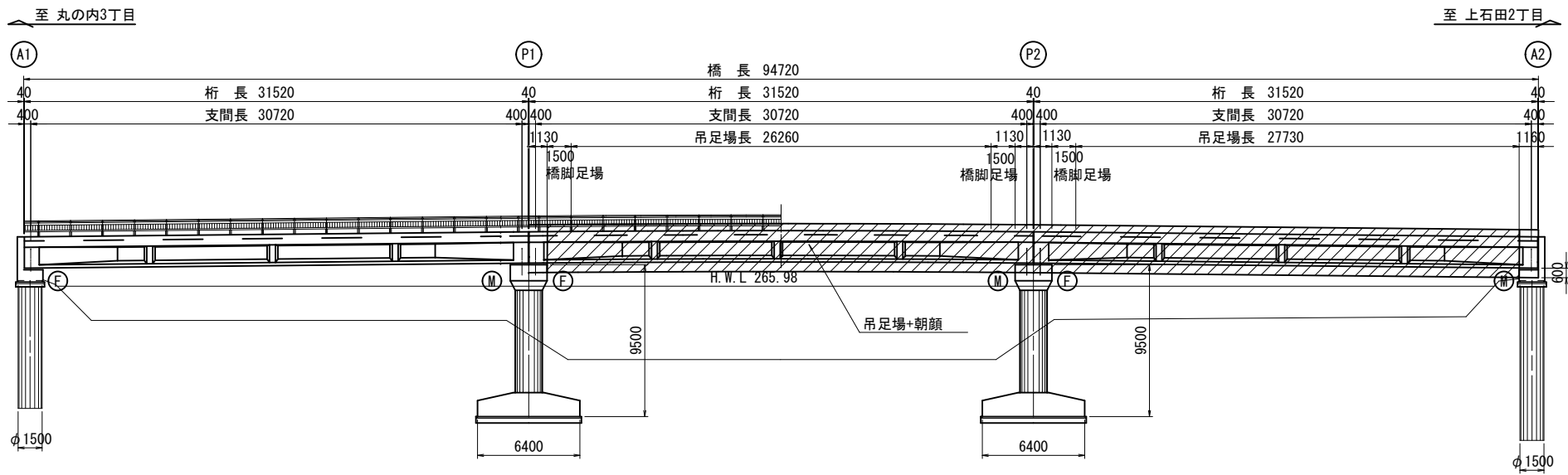
＜注記＞

1. 施工に関しては、現地寸法を確認のこと。

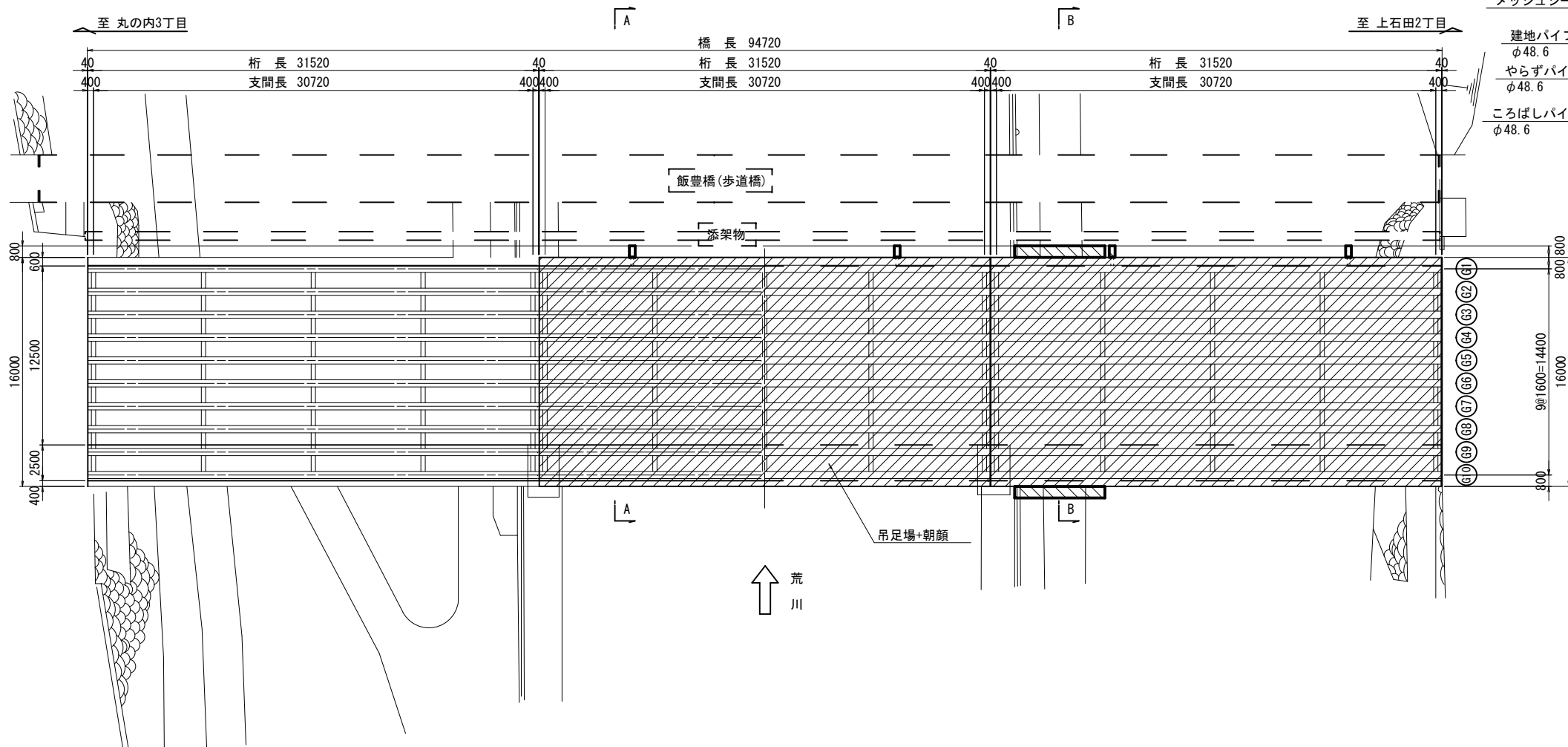
工 事 名	橋梁補修工事（R 8－1）		
工事場所	甲府市 相生一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 高畑西条線		
図 面 名	飯豊橋(車道橋) 排水管補修工詳細		
縮 尺	図示	図面番号	6
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
	甲	府	市

飯豊橋(車道橋) 仮設計画図(参考図)

側面図 S=1:200

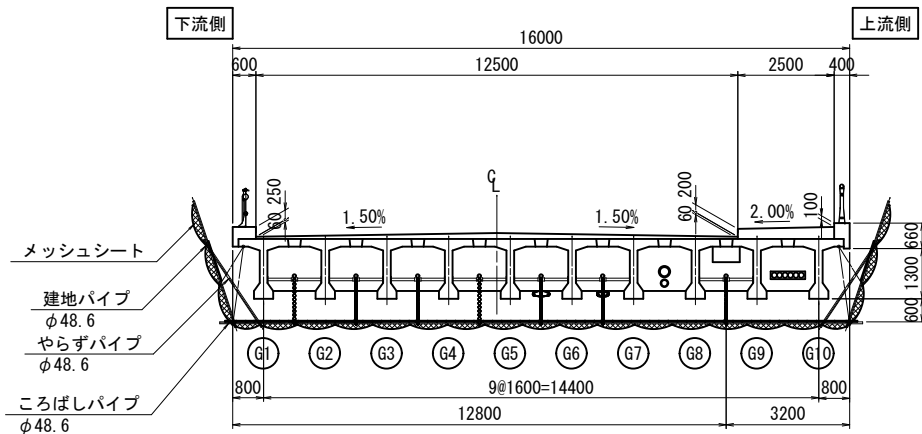


平面図 S=1:200



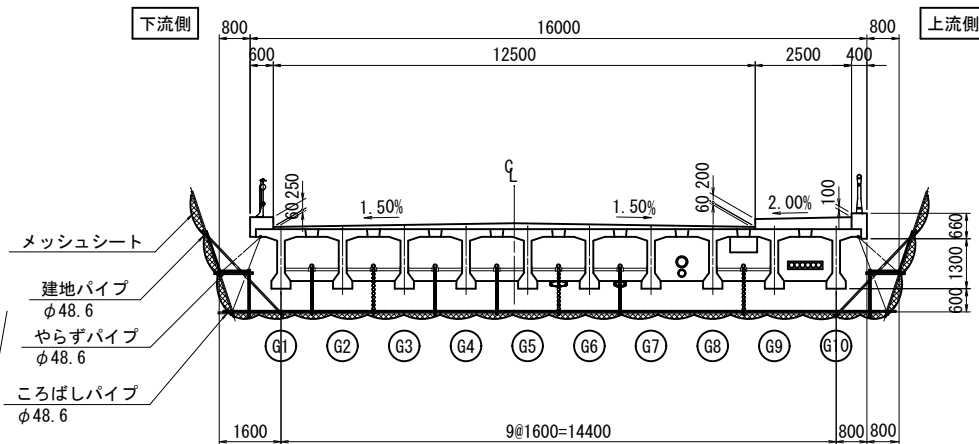
上部工中間部 S=1:100

A - A



地覆補修用足場

B - B



補修用足場 数量表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
吊足場	両側朝顔	m2	864	桁高≧1.5
防護工	両側、床面	m2	864	シート+板張り防護
橋脚回り足場	両側、床面	m2	89	シート+板張り防護
地覆補修用足場	剥落防止工、排水管補修工	m2	23	シート+板張り防護

- 〈注記〉
- 足場工の設置は「橋梁架設工事の積算(令和8年度版)」に準拠している。
 - 施工に際しては、必要に応じて強度計算を行い、適切な部材配置を行うこと。
 - 剥離作業は「労働安全衛生法」「鉛中毒予防規則」に基づいて行うこと。
 - 排水管の塗装塗替は有害物が含まれていることを前提に、作業者の人体への影響に留意すること。(呼吸用保護具・保護衣等の使用)

工 事 名	橋梁補修工事（R8－1）		
工事場所	甲府市 相生一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 高畑西条線		
図 面 名	飯豊橋(車道橋) 仮設計画図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	7
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			